

風雲児・金玉均(仮題)

풍운아 김옥균 | The Man We Knew(Working Title)

作品概要

監督:未定 | プロデューサー:キム・ヨン | 製作会社:ミルピクチャーズ | シナリオ:オリジナル | 作品区分:実写劇映画 | ジャンル:ファクション | 製作形式:デジタル
使用言語:韓国語・日本語 | 撮影予定日:2017.03.01 | 直接製作費(KRW):8,000,000,000 | 共同製作 希望形態:共同製作 | シナリオ:シノプシス企画中
プロジェクト 推進経過:現在、資料調査及び構成中であり、シノプシスの整理をしている段階です

製作計画書:

「風雲児」とはまさに金玉均(キム・オッキュン)のためにある代名詞だ。大韓帝国時代の末期、開化改革の旗を挙げ、救国を叫んだ熱血青年。日本の力を借りてでも腐敗した無能な政府を打倒すべく「甲申事変」を起こした彼は、過激な「上からの革命」を試みるが、「三日天下」で幕は下ろされ、日本に亡命する。そして、故国で再び革命を起こすために上海へと向かう。

そこで明成皇后一派の罠が待ち受けているとは… 歴史を覆そうとした革命家の亡命10年、後戻りできない最後。映画は金玉均の日本在留10年を描く。上海に向かう準備過程から上海に至るまで1894年を現在として全体の流れをつかむ。映画の構成は<三島由紀夫:ミシマ:ア・ライフ・イン・フォー・チャプターズ>を参考としているが、ア・ライフ・イン・フォー・チャプターズのように作品に入っていくのではなく過去に戻る。彼が会って別れる人々との関わりを過去と現在に分けて描写し、甲申事変後の日本での革命の試みと配流生活に焦点を当てる。彼は上海に到着した後、政治哲学の異なる開化派の洪鍾宇(ホン・ジョンウ)に拳銃で暗殺され、死体をバラバラにされた挙句、家族も身分を奪われる。その後、日本の支配は勢いを増す。

この作品は、金玉均という理想を求めた政治家の失敗を描くものではない。一つの時代を通り過ぎていった若い知識人の理想と現実、そしてその時代の哲学と、激動の時代の中で彼らが叫び守りたかった信念について描く。映画「暗殺」より前の時代の個人と国家の正義について…

製作陣情報



キム・ヨン

所属:ミルピクチャーズ

職位:監督

住所:

Yongsan-gu Startup Assistance Center
403, Seobinggo-ro 245, Yongsan-gu,
Seoul, South Korea

連絡先:

Tel: +82-70-4196-8521

Mobile: +82-10-3261-8521

Email: eyewitness@naver.com

氏名:未定

プロデューサー:キム・ヨン(海外行事参加者)

作品経歴:キム・ジウン監督のプロデューサー(Co-Producer)

ボン・ジュノ監督他、総括プロデューサー

モーション101(ショーボックスの子会社)プロデューサー/企画チーム2チーム長

KAFA+ 独立長編映画 総括プロデューサー

CJ CGV ムービーコレクション及び CJ CGV LA 上映部門チーム長

作家:未定

製作会社:ミルピクチャーズ

作品経歴:「Jung」(チョンジョンシク監督)の輸入配給(世界的なアニメの主要映画祭でグランドスラム達成作品、次期作品の企画開発中)

イ・サンミン監督 <非行少年> 企画開発中(全州/忠南/釜山映像委員会企画開発支援作品、PGK HBP グローバル企画賞/観客賞、映像振興委員会プリズ支援作品) キム・ヒョヌ監督 <手鉤(テカギ)> 企画開発中(第20回 BIFAN NAFF it プロジェクト選定作品)

イ・サンミン監督と企画開発中(全州映像委員会 企画開発最優秀作品、PGK HBP グローバル企画賞/観客賞)

その他、国内外の作品企画開発及び各種プロジェクトマーケットに参加中。

参加にあたってのコメント(その他)

国際共同作品の企画開発を手がけて数年立ちますが、実際に実行段階まで至らず、今回は様々な作品で海外マーケットに参加してプロジェクトを推し進めたいとの希望から新しい作品を企画構成しました。この作品の企画制作を通じて、近年の大型時代劇の成功事例にも力を得て、既存の歴史的解釈ではなく、新しい分析と視点から韓国の歴史を振り返る契機にしたいと思います。

ミル・ピクチャーズ

住所:

Yongsan-gu Startup Assistance Center
403, Seobinggo-ro 245, Yongsan-gu,
Seoul, South Korea

連絡先:

Tel: +82-70-4196-8521

Email: eyewitness@naver.com